

海外で販路開拓 するためのポイント

～製品もガラパゴス化、流通もガラパゴス化してしまった日本

海外では流通に特定の商品認識コードを使っていることをご存知ですか？～

食品・日用雑貨・部品・各種工業製品など自社製品を世界に PR するには、国際標準規格の流通コード(GS1)を活用することがポイントです。そして今、日本製品の情報を海外の購買者へ届ける「商品情報データベース」への登録と、エビデンス(証拠・根拠)、トレーサビリティ(物品の追跡可能性)といった課題解決に向けた取り組みが着々と進行しています。セミナーでは、既に取り組んでいる各企業の事例を交えご説明いたします。

日時 **11月16日(木) 18:00～20:00**

場所 クリエイターズプラザ(東大阪市荒本北1-4-1クリエイション・コア東大阪 南館3階)

講師 一般財団法人 流通システム開発センター 主任研究員 市原 栄樹 氏

参加費 無 料

定員 **先着30名** ※好評のためお早めにお申込みください。

～講師プロフィール～

1992年、流通システム開発センターに入所。2003年より国際的な標準化組織であるGS1による標準化検討組織GSMP(Global Standard Management Process)に参加して現在に至る。専門は国際的な商品マスターの同期化システム(GDSN)と、eコマース、デジタルに係る情報システムの標準化。2013年よりGS1が公開したGS1QRコードの導入を国内業界に働きかけてきた。2015年より新潟県三条市、燕市の金物卸商が導入しているGS1QRコードによる取扱説明書と製品安全向上の取組みの導入支援にも加わっている。



流通システム開発センターとは、

流通業界の情報システム標準化推進組織であり、国際的にはGS1と呼ばれる国際組織の日本代表も担う

お申込み・お問合せ

(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構

下記の参加申込みにご記入の上、メールまたはFAXで申し込んで下さい。

TEL : 06 - 4309 - 2301 FAX : 06 - 4309 - 2303

E-mail : seminar@hispa.biz-web.jp

事業所名／所属			
所在地			
役職／名前			
TEL		FAX	
E-mail			